

与論島



与論高校3年

Mさん



小学生の頃から家族旅行で与論島を訪れ、回数を重ねるごとに与論島の自然環境の良さ・人とのつながりに魅力を感じたと言うMさん。3年前に与論高校に入学、里親さんの元で生活しながら今年3月に高校を卒業しました。

Q どんな高校生活でしたか？

A 1年生の頃は学校行事で、両親に見に来てもらうことができず寂しかったこともあり。与論島の生活を続けていく中、3年生の頃には友達のお親、地域の方が自分の親のように接してくれたり、声を掛けてくれて、それがとてもうれしかったです。勉強は新しい生活にも不慣れだった1年生の頃が一番大変だったなと思います。吹奏楽部に所属していたので部活があったところは、ほとんど学校にいたなあという記憶です。

Q 与論島での印象的な思い出を教えてください。

A 与論島はゆったりしている印象があったので、最初の1年目は勉強量にびっくりしました。生活の中では、与論の方言で話している人が何を言っているのか全然分からなかったこと、人と人とのつながりが予想以上だったことが印象に残っています。台風も今まで住んでいた地域では経験したことのない規模だったので、最初はとてもビックリしました。

Q ご両親と離れて、与論島で生活して感じたことを教えてください。

A 最初の頃は学校生活も新しいことばかりで、洗濯・掃除など身の回りの事を自分でしなくてはいけない生活に慣れるには時間がかかりました。今では、高校生活中にこの様な新しい経験ができた事が、今後に繋がれるという自信になっています。

みなさんに、メッセージをお願いします。

与論島で過ごした3年間はとても充実していて、あっという間に卒業という感覚でした。しかし、私が無事に3年間過ごすことができたのは、送り出してくれた親、本当の親のように接してくれた楽園荘の方々、親身に相談に乗ってくれた先生方などの支えがあったからだと思います。本当にありがとうございました。

これから留学を考えている人、迷っている人はぜひ来てください！島には美しい自然だけでなく、住んでみると分からない魅力がたくさんあります。優しい人たちばかりなので安心ですよ。